プレスリリース

令和7年1月31日
生活文化スポーツ局
公益財団法人東京都歴史文化財団

令和7（2025）年度都立文化施設の事業ラインアップ

東京都写真美術館、東京都現代美術館は開館30周年！
令和7(2025)年度の都立文化施設にどうぞご期待ください。

都立の文化施設では、令和7（2025）年度もお客様に楽しんでいただける様々な事業を開催してまいります。

今年開館30周年を迎える東京都写真美術館と東京都現代美術館は、記念展覧会や関連イベントの開催を予定しております。一時休館中の東京芸術劇場も今夏に再開し、ますますパワーアップしたラインアップをお届けいたします。

各館の多彩なラインアップをご案内いたします

江戸東京たてもの園

「近世職人絵尽」狩野晏川／写（鍬形蕙斎／原画）1890年（明治23）

「おいしい」の歴史をたどる展覧会

特別展
「江戸東京博物館コレクション～江戸東京のくらしと食べ物～」

2025年3月20日～6月15日

東京都美術館

フィンセント・ファン・ゴッホ《画家としての自画像》1887年12月-1888年2月 油彩、カンヴァス 65.1×50cm ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム（フィンセント・ファン・ゴッホ財団）Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

ファン・ゴッホ家が守り、受け継いだ貴重なコレクションが来日

特別展
「ゴッホ展
家族がつないだ画家の夢」

2025年9月12日～12月21日

東京都庭園美術館

Entwined Flowers, Red and White Roses bracelet, 1924
Platinum, emeralds, rubies, onyx, yellow diamonds, diamonds
Van Cleef & Arpels Collection
© Van Cleef & Arpels SA

アール・デコ博100周年を祝し、珠玉の名品を一堂に

永遠なる瞬間
ヴァン クリーフ＆アーペル
ハイジュエリーが語るアール・デコ

2025年9月27日～
2026年1月18日

東京都写真美術館

総合開館30周年※

ルイジ・ギッリ　モランディのアトリエ
1991年

イタリアが誇る色と光！アジア初の美術館個展

総合開館30周年記念
ルイジ・ギッリ

2025年7月3日～9月28日

※1990年の一次施設開館を経て、1995年1月に恵比寿ガーデンプレイス内に現在の美術館が総合開館しました。
総合開館30周年記念展は年間を通じて開催いたします。別紙をご覧ください。

東京都現代美術館

開館30周年

ジョナタス・デ・アンドレーデ
《Jogos Dirigidos (Directed Games)》2019年

多彩なイベントを通して美術館のこれからを考える国際展

開館30周年記念展

2025年8月23日～11月24日

トーキョーアーツアンドスペース

久松知子　≪ダンシングサラリーマン≫
2024-制作中

海外や東京で滞在制作を行った、6か国14名による作品を発表

トーキョーアーツ
アンドスペース
レジデンス2025
成果発表展

第1期2025年5月17日～6月22日
第2期2025年7月5日～8月10日

東京都渋谷公園通りギャラリー

マッジ・ギル《Untitled》1945頃, 個人蔵
Madge Gill, *Untitled*, c.1945,
Courtesy of Adam Whitaker Collection. Photo by Laura Hutchinson

英国レジェンド作家、
マッジ・ギルの作品も

アール・ブリュット
ゼン＆ナウ Vol.4
英国作家展

2025年6月21日～8月31日

東　京　文　化　会　館

「移民」@Collection Lobster Films

チャップリンの映画と
アンサンブルの生演奏

舞台芸術創造事業
IRCAMシネマ
「チャップリン・ファクトリー」
～現代音楽と無声映画の
コラボレーション～

2025年11月14日

東　京　芸　術　劇　場　今年再開

©LUCIE JANSCH

仏名優イザベル・ユペールの
一人芝居、日本初演

芸劇オータムセレクション
「Mary Said
What She Said」

2025年10月

東京都江戸東京博物館

東京都江戸東京博物館は大規模改修工事のため、
2026年春（予定）まで休館いたします。

※事業名は変更する場合があります。会期は予定です。今後の状況により、予定が変更となる場合があります。上記以外の事業については、別紙をご覧ください。
※一部施設では期間限定で夜間特別開館を開催予定です。
※事業は、東京都令和7(2025)年度予算が東京都議会で可決された場合及び、公益財団法人東京都歴史文化財団令和7(2025)年度予算が財団理事会で可決され、同評議員会が承認した場合に確定します。

《参考》

TOKYO FORWARD 2025
文化プログラム

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、東京で世界陸上とデフリンピックが開催される今年、多様な参加者とつどい・つながり・つくりあげる3つのアートプロジェクト「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム」を展開します。

「TRAIN TRAIN TRAIN」

詳細は別紙
「東京芸術劇場：演劇舞踊（1）」
をご覧ください

「TOKYO わっしょい」

詳細はこちら
https://tokyo-wasshoi.jp/

ろう者と聴者が遭遇する舞台作品
「黙るな 動け 呼吸しろ」

詳細はこちら
https://duk-tokyoforward2025.jp/

＜お問い合わせ先＞

生活文化スポーツ局文化振興部 文化事業課　電話：03－5000－7237
公益財団法人東京都歴史文化財団　総務部　総務課　電話：03－6256－9070
アーツカウンシル東京　企画部　広報課　電話：03－6256－9967
https://www.rekibun.or.jp/

※個別の事業につきましては、別紙に記載の各施設の担当者までお問い合わせください。

東京都江戸東京博物館

事業名	会期	概　要
えどはくカルチャー	年12回程度開催	東京都江戸東京博物館の学芸員・研究員などの講師が、江戸東京の歴史と文化に関する調査研究の成果を分かりやすく解説する「えどはくカルチャー」。江戸東京のさまざまなことがらを楽しく学べる大人気の講座です。休館中も都内他会場にて引き続き実施します。 会場：東京都美術館 ほか
えどはく移動博物館	出張ワークショップ年12回程度 出張展示年1回程度	「移動博物館」と題し、出張ワークショップや出張展示を実施します。ワークショップでは、生活の中で親しまれてきた道具や江戸の文化が感じられるアイテムを使った体験型のプログラムを実施。展示では、江戸時代から近現代までを対象に、レプリカや模型、パネルなどを展示します。 対象：東京都内の学校、高齢者施設 など

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都江戸東京博物館 広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京都江戸東京博物館
〒130-0015 墨田区横網1-4-1
電話：03-3626-9974　https://www.edo-tokyo-museum.or.jp
※大規模改修工事のため、2026年春（予定）まで休館中です。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

江戸東京たてもの園（1）

事業名	会期	概　要
特別展 江戸東京博物館コレクション～江戸東京のくらしと食べ物～	2025年3月20日 ～6月15日	江戸東京の歴史を「食」という観点から紹介する展覧会です。世界的に評価が高まっている和食は、江戸庶民の生活の中から生まれてきました。また、明治維新以降、西洋料理が積極的に受け入れられ、それが和食とうまく混ざりあって新しい食文化が生まれました。本展覧会では、江戸東京における食文化の変遷を紐解きます。
こどもの日イベント	2025年5月4日、5日	ゴールデンウィーク期間中の2日間、こどもの日にちなんだ企画を実施します。鯉のぼりがそよぐ広場では、大人も子供も一緒に昔のあそびを楽しめます。また、商店建築が建ち並ぶ一画では、おつかいを体験できる催しを行うなど、建物を活用して昔の暮らしを体験できます。
特別展 武蔵野の歴史と民俗～「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち～	2025年7月19日 ～12月14日	江戸東京たてもの園の前身施設である武蔵野郷土館は、関東地方に所在する遺跡の発掘調査を行うと共に、武蔵野の民俗に関する資料の収集にも力を入れました。本展覧会では、武蔵野郷土館が収集してきた考古資料や歴史資料のほか、生業や生活、信仰、娯楽に関する民俗資料を紹介します。
夜間特別開園 下町夕涼み	2025年8月2日、3日	開園時間を特別に延長し、夏の夕べの過ごし方を体感していただける催しです。園内の「下町中通り」では、提灯や建物のあかりがともる復元建造物の商店が下町の夏の風情を感じさせます。伝統的な日本の民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
夜間特別開園 紅葉とたてもののライトアップ	2025年11月22日、23日	紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長して行う催しです。園内の色付く木々と復元建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中にはあたたかなあかりがともる、昼間とは趣の異なる夜のたてもの園を散策していただけます。仕立屋のガス灯の点灯、民家の囲炉裏や洋館の暖炉に火を入れる催しなど、昔のあかりやぬくもりを体感いただけます。
たてもの園でお正月	2026年1月2日、3日	正月2日、3日に入園無料の特別開園を行い、皆様をお迎えします。園内の復元建造物にしめ飾りや門松を立て、獅子舞や太神楽などの新年にふさわしい伝統芸能をご覧いただけます。また、江戸時代より庶民に親しまれていた縁起物の「宝船絵」（印刷物）を先着順で配布します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は江戸東京たてもの園 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

江戸東京たてもの園
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1（都立小金井公園内）
電話：042-388-3300　https://www.tatemonoen.jp/
【開園時間】9時30分～17時30分（10月～3月は16時30分まで ）
【休園日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園）、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

江戸東京たてもの園（2）

事業名	会期	概　要
成人の日はたてもの園へ	2026年1月12日	ハレの日の記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶ江戸東京たてもの園で新成人をお祝いする催しです。人力車での園内めぐりのほか、復元建造物である常盤台写真場内のスタジオでは、お手持ちのカメラで記念撮影ができます。新成人は無料でご入園いただけます。
特別展 昭和100年と江戸東京たてもの園	2026年3月20日 ～6月21日	江戸東京たてもの園の地は、戦前・戦後・平成の各時代にそれぞれ独自の役割を与えられ、多くの人が活躍する場所でした。小金井大緑地、上皇陛下ゆかりの地、高度経済成長下に各地の発掘調査を行った武蔵野郷土館の地、そして失われていく建物を残した江戸東京たてもの園の地、これらはそれぞれの時代背景を切り離して語ることはできません。昭和元年より100年目の節目の年にあたり、この地がどのような歴史をたどったかを見つめ直します。
たてもの園フェスティバル	2026年3月27日、 28日	小金井公園にある1,400本の桜のつぼみがほころぶこの時季、子供から大人まで一緒に楽しめる催しを行います。誰もが参加できるクイズラリーをはじめ、アーティストによるパフォーマンスなどさまざまな事業を行います。開園記念日の3月28日は無料でご入園いただけます。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は江戸東京たてもの園 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

江戸東京たてもの園
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1（都立小金井公園内）
電話：042-388-3300　https://www.tatemonoen.jp/
【開園時間】9時30分～17時30分（10月～3月は16時30分まで ）
【休園日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園）、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都美術館（1）

事業名	会期	概　要
特別展「ミロ展」	2025年3月1日 ～7月6日	ピカソと並ぶ20世紀美術を代表するスペイン出身の巨匠ジュアン・ミロ（1893-1983）。90歳まで挑戦を続けたその画業の全体を、初期から晩年までの代表作によってご紹介します。幅広い層を魅了するミロ作品の真髄を体感できる大回顧展です。
都美セレクション グループ展 2025	2025年6月10日 ～7月2日	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
企画展「つくるよろこび　生きるためのDIY」	2025年7月24日 ～10月8日	アートとライフの垣根を越え、人々の「よりよく生きる」ことへの思いが導くDIY（Do It Yourself、自分でやってみよう）の可能性について、7組の現代作家と建築家の視点で問いかけます。
特別展「ゴッホ展　家族がつないだ画家の夢」	2025年9月12日 ～12月21日	ファン・ゴッホ家のコレクションに焦点を当てる展覧会。ファン・ゴッホ美術館の作品を中心に、ファン・ゴッホ（1853-1890）の作品30点以上に加え、日本初公開となるファン・ゴッホの手紙4通なども展示し、家族が守り受け継いできたコレクションを紹介します。
上野アーティストプロジェクト2025	2025年11月18日 ～2026年1月8日	公募団体展と共に歩み続けてきた東京都美術館の歴史と伝統を踏まえ、毎年魅力的な企画テーマを設定し、公募団体などで活躍している作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第9弾。今回は、刺繍や刺子の技法を用いて表現活動を展開してきた作り手たちに注目します。
コレクション展	2025年11月18日 ～2026年1月8日	都立美術館、博物館等に所蔵される多種多様なジャンルの資料を、同時開催の「上野アーティストプロジェクト2025」にあわせ「刺繍」という切り口から紹介する展覧会を実施し、上野を訪れる美術愛好者に東京都の幅広いコレクションを紹介します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都美術館
〒110-0007　台東区上野公園 8-36
電話：03-3823-6921　https://www.tobikan.jp
【開館時間】9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで）
【休館日】第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館
　　特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都美術館(2)

事業名	会期	概　要
特別展「スウェーデン絵画展」	2026年1月～4月	雄大な自然や心地よい暮らしで知られる北欧への関心が高まる中、スウェーデン美術を紹介する展覧会を開催します。スウェーデン国立美術館の全面協力のもと、スウェーデン美術黄金期ともいえる19世紀末から20世紀にかけて生み出された魅力的な絵画をとおして、自然と共に豊かに生きる北欧ならではの感性に迫ります。
東京都美術館×東京藝術大学 「とびらプロジェクト」	通年	美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト「とびらプロジェクト」。毎年広く一般から募集するアート・コミュニケータ(とびラー)と、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家が共に美術館を拠点に、芸術や文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を展開しています。年間をとおして、一般の方が参加できるプログラムを実施し、2月頃にはフォーラムも開催します。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日など年15回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアーです。東京都美術館のアート・コミュニケータ(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります。ガイド個々人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、当館の公式ウェブサイトにて随時お知らせします。(要事前申込)
障害のある方のための特別鑑賞会	特別展ごとに1回開催	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催しています。特別展ごとに1回開催し、東京都美術館のアート・コミュニケータ(とびラー)が当日のサポートをします。(要事前申込)
Museum Start あいうえの	通年	Museum Start あいうえのは上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。ファミリー&ティーンズ・プログラム、学校プログラム、ダイバーシティ・プログラムを年間をとおして開催し、ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を継続的に支援していきます。(要事前申込)
Creative Ageing ずっとび	通年	誰もがクリエイティブに歳を重ねられる社会を目指し、シニア世代の方々を対象にした参加型の鑑賞や異世代交流の機会、認知症のある方を対象にしたプログラムなどの企画を実施します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞
東京都美術館
〒110-0007　台東区上野公園 8-36
電話：03-3823-6921　https://www.tobikan.jp
【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)
【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館
　　特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都美術館(3)

事業名	会期	概　要
「アート・コミュニケーション事業を体験する 2025」	2025年7月31日～8月10日	2012年から始まったアート・コミュニケーション(AC)事業の歩みとそのエッセンスを振り返り、多彩なAC事業が体験できる特別企画を開催します。会場では展示に加えて、多様なバックグラウンドを持つ市民のアート・コミュニケータ(とびラー)と一緒に、さまざまなアート・コミュニケーションが楽しめる場を作ります。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都美術館
〒110-0007　台東区上野公園 8-36
電話：03-3823-6921　https://www.tobikan.jp
【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)
【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館
特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都庭園美術館

事業名	会期	概　要
戦後西ドイツのグラフィックデザイン　モダニズム再発見	2025年3月8日 ～5月18日	第二次世界大戦後に東西分割統治され誕生した「西ドイツ」。西ドイツでは、過去にバウハウスで提唱されたデザインのモダニズムを再び取り入れながら、過去の模倣にとどまらない、デザイン理論の実践と発展がなされました。本展は、ドイツの個人コレクター所蔵の、日本初公開となるコレクションから、西ドイツのポスターを中心に、冊子や雑誌にいたる多彩な作品を展示します。理知的で斬新な西ドイツのグラフィックデザインの世界をお楽しみください。
建物公開 2025 時を紡ぐ館	2025年6月7日 ～8月24日	年に1度の建物公開展。今回は旧朝香宮邸（本館）の建築空間の「機能の変遷」に着目します。この建物は時代の潮流と共に、「邸宅」「政務の場」「迎賓館」「催事施設」と多様な歴史を紡いできました。そして今、美術館として42年目を迎える中で、建物はどのような機能や役割を果たし、人々と共生してきたのでしょうか。 本展では、変わりゆく時代のなかで守られてきた旧朝香宮邸における建築空間の機能の変遷を、建物の歴史と共に紐解きます。
永遠なる瞬間　ヴァン クリーフ＆アーペル ハイジュエリーが語るアール・デコ	2025年9月27日 ～2026年1月18日	本展は、旧朝香宮邸の設計や装飾に多大な影響を与えたパリの「アール・デコ博覧会」の開催から100周年を記念する展覧会です。フランスを代表する宝飾メゾンであるヴァン クリーフ＆アーペル（Van Cleef & Arpels）の作品の中でも、アール・デコ博覧会の宝飾部門でグランプリを受賞した《ローズ ブレスレット》ほか、歴史的価値が認められる“パトリモニー コレクション”より厳選された名品を一堂に会し、アール・デコの魅力に迫ります。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都庭園美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都庭園美術館
〒108-0071港区白金台5-21-9
電話：03-3443-0201　https://www.teien-art-museum.ne.jp
【開館時間】10時～18時
【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都写真美術館（1）

事業名	会期	概　要
総合開館30周年記念 鷹野隆大　カスババ ーこの日常を生きのびるためにー	2025年2月27日 ～6月8日	当館の重点収集作家である鷹野隆大(1963-)の個展。鷹野は第31回木村伊兵衛写真賞を受賞、写真集『IN MY ROOM』に代表されるセクシュアリティをテーマとした作品や、スナップショットのシリーズ〈毎日写真〉〈カスババ〉を手がけ、東日本大震災以降は「影」をテーマにした作品にも取り組んでいます。弱いものも、みにくいものもそのまま、むきだしのイメージを提示する鷹野の作品をとおし、この日常を生きのびるためのヒントを探ります。
総合開館30周年記念 TOPコレクション 不易流行	2025年4月5日 ～6月22日	総合開館30周年を記念し、TOPコレクション展は二期にわたって開催します。第一期・第二期合わせて「10のテーマ」からなる2025年のTOPコレクション展は、当館の学芸員7名による、共同企画のオムニバス形式。37,000 点を超える当館の貴重なコレクションの数々から、写真・映像の歴史と現在をさまざまな視点で読み解きます。第一期となる本展では、写真の黎明期である19世紀から現代まで、5つのテーマでコレクションの魅力を紹介します。
総合開館30周年記念 ルイジ・ギッリ	2025年7月3日 ～9月28日	欧米での個展開催やドキュメンタリー映画の発表など、近年国際的に注目されるイタリアの写真家、ルイジ・ギッリ（1943-1992）のアジア初の美術館個展。ギッリはその類まれな色彩、空間、光への美的感覚と、ありふれたものをユーモラスに視覚化する才能によって、写真表現を新たなレベルへと引き上げました。イメージをとおしてどのように世界や社会を考えるのか。軽やかでありながら密度をもって問いかけるギッリの作品をお楽しみください。
総合開館30周年記念 TOPコレクション トランスフィジカル	2025年7月3日 ～9月21日	「フィジカル」という言葉には「物質的」「身体的」という意味があります。総合開館30周年を記念したTOP コレクション展の第二期では、モノとして存在する写真の「物質性」や、被写体や作家自身の「身体的表現」に着目し、5つのテーマで当館コレクションの魅力をご紹介します。デジタルが活況を呈する現在の写真・映像の在り様に、鮮やかな一石を投じる当館の珠玉の名作をぜひご覧ください。
総合開館30周年記念 ペドロ・コスタ	2025年8月28日 ～12月7日	ポルトガルの鬼才、映画監督ペドロ・コスタ(1959-)の日本初個展。大個展「companhia」（ポルトガル、2018-19）や、「The Song of Pedro Costa」（スペイン、2022-23）の開催など、世界が注目するコスタの映像作品に加え、当館の写真・映像コレクションも紹介し、映像とイメージの歴史を浮かび上がらせます。「すべての映画は千の手で書かれた手紙」とするコスタ。その制作方法、社会的構造へのアプローチ、映画史との関連性を、映像や写真・資料などから考えます。
総合開館30周年記念 日本の新進作家vol.22	2025年10月2日 ～2026年1月7日	「日本の新進作家」展は写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘すると共に、新たな創造活動を紹介するグループ展です。22回目となる今回ご紹介するのは、5人の現代作家。人と時代の流れや場所、風習などの物事との結びつきによって生まれた小さな物語に焦点を当てます。バックグラウンドが異なる私たちがそれぞれに寄り添うための想像力を広げるきっかけを探ります。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都写真美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3　恵比寿ガーデンプレイス内
電話：03-3280-0099　https://www.topmuseum.jp
【開館時間】10 時～18 時（木曜日・金曜日は20 時まで）
【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、臨時休館日
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都写真美術館（2）

事業名	会期	概　要
総合開館30周年記念 熱き沸騰の時代 プロヴォーク	2025年10月15日 ～2026年1月25日	『provoke』（1968-70）は美術評論家・多木浩二と写真家・中平卓馬によって発案され、詩人・岡田隆彦と写真家・高梨豊が加わった同人誌。その『provoke』にフォーカスを当てた展覧会です。荒れた粒子に不安定な構図の写真群は「アレ、ブレ、ボケ」と賛否両論を巻き起こし、写真の枠を超えて時代に大きなインパクトを与えました。一方で同時代の学生たちは、彼らに触発されながらも学生運動の影響を受け、各自の問題意識で撮影を行いました。二つの表現の流れを軸に、1960～70年代の時代を浮かび上がらせます。
恵比寿映像祭2026	2026年2月6日 ～2月23日	恵比寿映像祭は、2009年の第1回開催以来、年に一度恵比寿の地で、展示、上映、ライヴ・パフォーマンス、トーク・セッションなどを複合的に行ってきた映像とアートの国際フェスティバルです。映像分野における創造活動の活性化と、映像表現やメディアの発展をいかに育み、継承していくかという課題について広く共有する場となることを目指してきました。近年では、地域とのつながりや国際的なネットワークを強化し、一層の充実と発展を図っています。
TOPコレクション W. ユージン・スミス	2026年3月17日 ～6月7日	20世紀を代表するアメリカの写真家W. ユージン・スミス（1918-1978）。1954年にグラフ雑誌『ライフ』を退職したのち、マンハッタンの通称「ロフト」と呼ばれる場所に移り住み、セロニアス・モンク、マイルス・デイヴィス、ボブ・ディランなどの音楽家や、サルバドール・ダリ、ロバート・フランク、ダイアン・アーバスなどの芸術家たちとの交流をとおして、多くの作品を生み出しました。1950年代から晩年期までの彼の活動を豊富な当館コレクションより紹介します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都写真美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3　恵比寿ガーデンプレイス内
電話：03-3280-0099　https://www.topmuseum.jp
【開館時間】10 時～18 時（木曜日・金曜日は20 時まで）
【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、臨時休館日
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都現代美術館（1）

事業名	会期	概　要
MOT Plus サウンドウォーク・コレクティヴ & パティ・スミス｜コレスポンデンス	2025年4月26日 ～6月29日	当館では、パフォーマンスや上映など、従来の展覧会の形式にとどまらない、実験的なプロジェクトを展開する場として、新規事業「MOT Plusプロジェクト」を始めます。「コレスポンデンス」は、音を使って、場所や歴史、感覚を表現する音響アート集団のサウンドウォーク・コレクティヴと、詩人で伝説的パフォーマーのパティ・スミス(1946-)とのコラボレーションです。世界の様々な場所で採取された音と映像、パティ・スミスによって書き下ろされた詩が交差することで、時間や場所を超えた独自の対話が生むオーディオビジュアル・インスタレーションを紹介します。
MOT Plus ハン・ネフケンス財団との共同プロジェクト シャハナ・ラジャニ	2025年4月29日 ～6月29日	ハン・ネフケンス財団はビデオアートに特化した非営利組織として2009年バルセロナに設立。世界各地の美術組織と連携してアーティストの制作支援を行っており、東京都現代美術館は2023年より連携事業を行っています。本年は、新規事業「MOT Plusプロジェクト」の一環として、同財団、当館、その他5つの美術館等とで2023年に設立された「南アジア・ビデオアート制作助成」の受賞者で、パキスタン拠点のアーティスト、シャハナ・ラジャニ（1987-）による新作を紹介します。
岡﨑乾二郎	2025年4月29日 ～7月21日	日本を代表する造形作家であるとともに、建築や環境文化圏計画、絵本、ロボット開発などの幅広い表現領域を手がけ、さらには文化全般にわたる批評家としても活躍してきた岡﨑乾二郎（1955-）の核心に迫る、東京における初の大規模な展覧会です。近年国際的な評価も高まるこの作家が大きく転回した2021年以降の新作を中心に、過去の代表作も網羅しつつ、世界を認識する方法としての造形の可能性と力に迫ります。
MOTコレクション	2025年4月29日 ～7月21日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せやテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。今年度は、開館30周年を記念し、複数の視点から現代美術の流れを見直す特別展示を行います。
MOTコレクション	2025年8月2日 ～11月24日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せやテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。今年度は、開館30周年を記念し、複数の視点から現代美術の流れを見直す特別展示を行います。
開館30周年記念展	2025年8月23日 ～11月24日	開館30周年を記念する本事業は、より多様化するこれからの社会と人々にとっての美術館がどのような場であるのかを展望するプラットフォームとして、国内外の作家による大型展示を軸に多彩な取り組みを展開します。展示では、ある場所や空間がどのような力学で形作られ、変容するのか、またそれはどのように人々の生き方に影響するのかを、幅広い視点から探求する作品を紹介します。また会期を通じて、若手アーティストらによるパフォーマンス、ワークショップ、ツアーなどのイベントを開催します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都現代美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都現代美術館
〒135-0022江東区三好4-1-1
電話：03-5245-4111　https://www.mot-art-museum.jp
【開館時間】10時～18時
【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概　要
笹本晃　ラボラトリー	2025年8月23日 ～11月24日	自ら設計・構成した彫刻や装置をインスタレーション空間に配置し、それらをスコア(譜面)のように用いて即興的なパフォーマンスを展開する作品で知られる、笹本晃(1980-)にとって初めてミッドキャリアを回顧する個展です。私小説的な語りをユーモラスに絡めながら深遠な問いを投げかける初期の代表作から、キネティック(動的)な要素が強まる最新作まで、約20年にわたり造形とパフォーマンスの関係を探究し、独自の実践を重ねてきた異才とその作品を紹介します。
TOKYO ART BOOK FAIR 2025	2025年12月11日 ～14日、 19日～21日	TOKYO ART BOOK FAIR 2025では、独創的なアートブックやZINE(自主制作出版物)を制作する国内外の出版社、ギャラリー、アーティストら出展者が会場である東京都現代美術館に集結し、それぞれの印刷物の魅力を直接のコミュニケーションをとおして来場者へと伝えます。ひとつの国や地域の出版文化に焦点を当てる企画「Guest Country」や、老舗から新進気鋭の出版社、さまざまな分野で活躍するアーティストやデザイナーらを、展示やトークイベントをとおして紹介し、豊かな出版シーンを紐解きます。
MOTコレクション	2025年12月25日 ～2026年3月29日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せやテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。今年度は、開館30周年を記念し、複数の視点から現代美術の流れを見直す特別展示を行います。
ミッション∞インフィニティ	2026年1月31日 ～5月6日	「ミッション[宇宙×芸術]」展から10年を経て、国際量子科学技術年(2025年)にあわせ、量子の世界を含む「宇宙と芸術」の企画展を開催します。科学者による宇宙研究と、アーティストによる宇宙をテーマとした作品に加え、量子コンピュータによる世界初のアート作品など、多次元的な「時と空間」が不思議なふるまいを見せる「量子」領域に取り組む表現を紹介します。国内外の研究機関でのアーティスト・イン・レジデンス作品や歴史資料をとおして、創造的な発想のヒント＝量子的思考を探る試みです。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都現代美術館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都現代美術館
〒135-0022江東区三好4-1-1
電話：03-5245-4111　https://www.mot-art-museum.jp
【開館時間】10時～18時
【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）（1）
会場：TOKAS本郷

事業名	会期	概　要
TOKAS-Emerging 2025	2025年4月5日 ～5月4日	これまでに300名以上の新たな才能を紹介してきた、若手アーティストの個展開催プログラム。日本在住35歳以下の作家154組の応募者から、4名を選出しました。平面や立体、映像、インスタレーションなどの作品を紹介します。
トーキョーアーツアンドスペース レジデンス2025 成果発表展	第1期 2025年5月17日 ～6月22日 第2期 2025年7月5日 ～8月10日	TOKASのレジデンス･プログラムの参加作家による成果発表展。2024年度に海外の6つの提携機関に派遣した作家や、TOKASレジデンシー（東京都墨田区）に滞在した作家たちが、リサーチを経て発展させた作品を紹介します。
TOKAS Project Vol. 8 「東京×バーゼル」	2025年8月23日 ～9月28日	アートや社会における多文化的な視点の交差やその実践を紹介する企画展。TOKASのレジデンス･プログラムの提携都市であるバーゼルから招聘･派遣した作家の展覧会を開催します。
OPEN SITE 10	第1期 2025年10月11日 ～11月9日 第2期 2025年11月22日 ～12月21日	ジャンルを問わず新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指した公募プログラム。選出された展示やパフォーマンスなど多岐にわたる作品を発表します。
ACT（Artists Contemporary TOKAS）Vol. 8	2026年2月28日 ～3月22日	TOKASのプログラムに参加経験があり、いま、注目すべき活動を行っているアーティストを中心に企画展を開催します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細はトーキョーアーツアンドスペース 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

≪ トーキョーアーツアンドスペースオフィス≫
〒135-0022　江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話：03-5245-1142　https://www.tokyoartsandspace.jp/
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

≪ トーキョーアーツアンドスペース本郷≫
〒113-0033　文京区本郷2-4-16
【開館時間】11時～19時 【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）（2）
会場：TOKASレジデンシー

事業名	会期	概　要
キュレーター・トーク	2025年6月 2025年10月 2026年2月	TOKASレジデンシー（東京都墨田区）に滞在する海外拠点のキュレーターが、レクチャー形式で自身の活動や拠点とする国/地域のアートシーンについて紹介します。
オープン・スタジオ 2025-2026	2025年7月18日 ～20日 2025年11月14日 ～16日 2026年3月13日 ～15日	TOKASレジデンシー（東京都墨田区）では年間約40組のクリエーターが滞在し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月にはクリエーターの滞在中の活動や制作した作品を公開します。トークイベントや、スタッフによる作品解説、施設見学ツアーも行います。
普及プログラム	2025年8月	アーティストを招き、小学生以上を対象とした制作ワークショップをTOKASレジデンシー（東京都墨田区）のスタジオを使って開催します。

会場：東京都現代美術館

Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026 受賞記念展	2025年12月25日 ～2026年3月29日	東京都とTOKASが2018年に創設した海外での活動に意欲がある中堅アーティストが対象の「Tokyo Contemporary Art Award」。第5回の受賞者、梅田哲也（1980-）と呉夏枝（1976-）が受賞を経て制作した新作を中心に東京都現代美術館で展示します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細はトーキョーアーツアンドスペース 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

≪ トーキョーアーツアンドスペースオフィス≫
〒135-0022　江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話：03-5245-1142　https://www.tokyoartsandspace.jp/
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

≪ トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー≫
〒130-0023　墨田区立川2-14-7-1F（オフィス501）
※キュレーター・トークは19時～20時30分、オープン・スタジオ各回金曜日は13時～19時、土・日曜日は11時～18時、普及プログラムは開催時間未定
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都渋谷公園通りギャラリー（1）

事業名	会期	概　要
今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト〈感覚の点P〉展	2025年2月15日 ～5月11日	美術作家・今村遼佑（1982-）と全盲の美術作家・光島貴之（1954-）による、作品展示と感覚をめぐるリサーチの記録を報告する展覧会です。 ひとりひとり異なる感覚の多様さを、数学の「任意の点P」になぞらえ、鑑賞者が自由にふれることのできる作品を多数展示。世代も制作スタイルも異なる二人による、リサーチとそこから生まれた作品をとおして、多様な世界の在り方にふれてみてください。
アール・ブリュット ゼン＆ナウ Vol.4　英国作家展	2025年6月21日 ～8月31日	「Art Brut Then & Now」シリーズは、国内外のアール・ブリュットの動向において、長く活躍を続ける作家と、近年発表の場を広げつつある作家を、さまざまな角度から紹介する展覧会シリーズ。 Vol.4では、英国人キュレーターをゲスト・キュレーターとして招聘し、英国のアール・ブリュット作家を紹介します。
アール・ブリュット2025巡回展	【東京都渋谷公園通りギャラリー】 2025年9月27日 ～12月21日 【都内巡回会場】 2026年1月～2月	アール・ブリュットの作家や作品を広く東京都内で紹介し、多様な人々の多様な表現に触れる機会をつくります。 東京都と共に区市町村などと連携し、東京都渋谷公園通りギャラリーのほか、都内の2つの会場を巡回します。
粘土とふれあう展	2026年2月14日 ～5月10日	粘土を用いて創作を行うアール・ブリュットなどの作家や作品を2つの視点をとおして紹介します。第1の視点では、粘土が作家の手をとおして作品となる過程に迫ります。第2の視点では、粘土による造形活動を行う工房や施設での作家同士の出会いと交流を紹介します。
交流プログラム	通年	多様な身体性や感覚など、さまざまな背景を持つ参加者が、参加者同士やアーティスト・専門家などと交流することで、多様な創造性や新たな価値観に触れることができる、対話的で創造的、インクルーシブな交流プログラム（トーク、ワークショップ、パフォーマンスなど）を実施します。
交流プログラム Kids meet 05	年1回程度開催	子供のプログラム「Kids meet」シリーズは、さまざまなバックグラウンドを持つ子供たちが、アートの体験を通じて偶然の出会いや想像もできないものごとと巡り合い、対話する機会を創出します。この体験によって、子供たちの世の中をみる視点や世界が広がり、さまざまな価値観を尊重する豊かな想像力が引き出せる場を目指します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都渋谷公園通りギャラリー
〒150-0041　渋谷区神南1-19-8　渋谷区立勤労福祉会館1F
電話：03-5422-3151　https://inclusion-art.jp/
【開館時間】11時～19時
【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都渋谷公園通りギャラリー（2）

事業名	会期	概　要
交流プログラム アートプロジェクト	通年	アートの多様性や包括性をとらえる先人へのインタビュー動画や、学芸員が気になるテーマでゲストと生の声を届ける音声コンテンツなどのオンラインプログラムを配信するほか、主にパーキンソン病の方を対象にどなたでも参加できる「ダンス・ウェル」などを実施します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都渋谷公園通りギャラリー
〒150-0041　渋谷区神南1-19-8　渋谷区立勤労福祉会館1F
電話：03-5422-3151　https://inclusion-art.jp/
【開館時間】11時～19時
【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館（1）

事業名	会期	概　要
上野 de クラシック	2025年4月 ～2026年3月（年12回） 2025年4月30日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブルなどさまざまな形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、夜にも開催予定です。 会場：小ホール
創遊・楽落らいぶ ー音楽家と落語家の コラボレーションー	2025年5月 ～2026年2月（年5回） 2025年5月30日 ほか	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立ての公演です。 会場：小ホール
《響の森》コンサート	2025年6月8日、 2026年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。 《2025年6月8日公演》 指揮：沼尻竜典 出演：宮里直樹（テノール）、迫田美帆（ソプラノ） 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
夏休み子ども音楽会 《上野の森文化探検》	2025年7月27日	指揮者の解説を交えた、フルオーケストラによるファミリー向けのクラシックコンサートです。上野地域の美術館、博物館などに無料または割引料金で入場できる特典付きです。 指揮とお話：角田鋼亮　出演：関 朋岳（ヴァイオリン） 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
第23回 東京音楽コンクール	第2次予選 2025年8月22日、23日、24日 本選 2025年8月27日、29日、31日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクールです。2025年度は、ピアノ、木管、声楽の3部門を対象に開催します。 本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者などを選出し、表彰式を行います。 第2次予選（公開審査）　会場：小ホール 本選（公開審査）　会場：大ホール
オペラBOX『泣いた赤おに』	2025年9月21日	小ホールの特性を活かした特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会の協力で、東京音楽コンクール入賞者を起用して開催します。今回は、2015、2019年に上演し好評を得た児童文学の傑作を、ワークショップに参加する子供たちと共に作り上げます。 台本・作曲・指揮：松井和彦　演出：久恒秀典 会場：小ホール

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京文化会館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館
〒110-8716　台東区上野公園5-45
電話：03-3828-2111　https://www.t-bunka.jp/
【開館時間】10時～22時
【休館日】年末年始、保守点検日　ほか
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館(2)

事業名	会期	概　要
舞台芸術創造事業 IRCAMシネマ「チャップリン・ファクトリー」 ～現代音楽と無声映画のコラボレーション～	2025年11月14日	チャップリンの3作品「放浪者」「舞台裏」「移民」を、映画のために作曲されたアンサンブルの生演奏と共にお楽しみいただきます。 作曲・指揮：マルティン・マタロン エレクトロニクス：IRCAM 出演：Trio K/D/M　ほか 会場：小ホール
新進音楽家国際キャリアアップ支援	2025年11月16日	新進音楽家を対象として、作曲家マルティン・マタロンによるマスタークラスを実施します。また、東京音楽コンクール入賞者と、レ・シエクルの首席ヴィオラ奏者キャロル・ロト＝ドファンの共演によるコンサートを実施し、新進音楽家の国際交流・研鑽の機会を創出します。 会場：小ホール　ほか
舞台芸術創造事業 歌劇『ブラームス　マゲローネのロマンス byティーク』	2025年12月20日	実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。ブラームスの歌曲集を歌劇に仕立て上げた新しい舞台作品です。 演出：岩田達宗 出演：小森輝彦（バリトン）、山本 裕（ダンス）、井出徳彦（ピアノ） ほか 会場：小ホール
東京音楽コンクール 優勝者＆最高位入賞者コンサート	2026年1月12日	第23回東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会です。各演奏後の司会者によるインタビューをとおし、ソリストの人柄も紹介します。 ソリスト：ピアノ部門、木管部門、声楽部門の 各優勝者または最高位入賞者 指揮：下野竜也　管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 会場：大ホール
公開リハーサル	年1回程度開催	通常は非公開の「音楽創り」を進めていく過程を無料公開します。新たな公演の魅力や楽しみ方を発見できる事業です。 会場：大ホール
バックステージツアー	複数回開催	普段見ることのできない舞台裏などの見学をとおして、東京文化会館の歴史と事業を多くの方々に知っていただく機会を提供します。＜舞台編＞と＜建築編＞と＜夏休みスペシャル！＞を開催します。 ツアー内容：大ホール舞台装置や出演者が残したサインの 見学、照明の操作体験など 会場：大ホール

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京文化会館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館
〒110-8716　台東区上野公園5-45
電話：03-3828-2111　https://www.t-bunka.jp/
【開館時間】10時～22時
【休館日】 年末年始、保守点検日　ほか
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館(3)

事業名	会期	概　要
ティータイムコンサート	複数回開催	昼下がりのひと時、大ホールのホワイエで行う無料のコンサートです。 出演者:東京都交響楽団員 会場:大ホール ホワイエ
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	年5回程度開催	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタルを開催します。 会場:小ホール
貸館連携事業	年3回程度開催	次世代を担う子供たちや高齢者などを対象とし、貸館利用者との連携により、オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、バックステージツアーなどを行います。 会場:大ホール ほか
国内外連携事業	年3回程度開催	国内外の文化施設と連携し、若手アーティストの活躍の場の提供などを行います。 会場:軽井沢大賀ホール ほか
フレッシュ名曲コンサート	年22回程度開催	都内の区市町村及び区市町村が指定する団体との共催によりオーケストラや室内楽のコンサートを実施します。次代を担う新進気鋭の音楽家が毎年活躍しています。 会場:都内各ホール
Music Program TOKYO Enjoy Concerts!	年32回以上開催	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした事業として、多彩なコンサートを実施します。 ・シアター・デビュー・プログラム ・プラチナ・シリーズ ・シャイニング・シリーズ ・3歳からの楽しいクラシック ・まちなかコンサート

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京文化会館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館
〒110-8716　台東区上野公園5-45
電話 : 03-3828-2111　https://www.t-bunka.jp/
【開館時間】10時～22時
【休館日】 年末年始、保守点検日　ほか
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館（4）

事業名	会期	概　要
Music Program TOKYO Workshop Workshop!	年130回以上開催	ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」をはじめとした、国内外のさまざまな機関と連携し、多様なワークショップを開催するほか、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また、地域文化施設と連携し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業に取り組みます。 ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・コンビビアル・プロジェクト
Music Program TOKYO Music Education Program	年100回以上開催	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「創造性」と「参加性」を重視した音楽教育プログラムを通年で実施します。 ・Talk & Lesson ・オペラをつくろう！ ・アウトリーチ・コンサート ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京文化会館 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館
〒110-8716　台東区上野公園5-45
電話：03-3828-2111　https://www.t-bunka.jp/
【開館時間】10時～22時
【休館日】年末年始、保守点検日　ほか
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：音楽（1）

事業名	会期	概　要
シアターオペラ vol.19 ドニゼッティ／歌劇『愛の妙薬』	2025年11月9日	コンサートホールの特徴を最大限に活かしたシアターオペラ・シリーズの第19回です。 ベルカント・オペラの代表作として知られる、ドニゼッティの傑作オペラ『愛の妙薬』を、全国共同制作作品として上演します。 曲目：歌劇『愛の妙薬』全2幕（イタリア語上演／日本語・英語字幕付き） 会場：コンサートホール
音楽大学オーケストラ・フェスティバル	2025年11月24日、2026年3月28日	首都圏の音楽大学とミューザ川崎シンフォニーホールと連携した共同企画公演。未来に羽ばたく人材の育成と交流を目的に行います。 11月公演は、大学毎のオーケストラが出演し、2026年3月は、各大学の選抜メンバーによる合同オーケストラの公演を行います。 出演：昭和音楽大学、東京藝術大学、桐朋学園大学 ジョン・アクセルロッド（指揮）、 音楽大学フェスティバル・オーケストラ（管弦楽） 会場：コンサートホール
リサイタル・シリーズ	2025年12月25日	2024年度に引き続きピアノ・デュオ公演をコンサートホールで展開します。異なるスタイルの2人のピアニストが、それぞれの表現力や感性、技術をぶつけ合うことで、ライブでしか味わえない熱狂的な空間を創造します。 会場：コンサートホール
Born Creative Festival 2026	2026年3月1日	2017年度の初開催以降、ご好評の声をいただいてきた企画の7回目。アーティスティック・ディレクターとして迎えるのは、世界的作曲家の藤倉大。「新しい音に出会うフェスティバル」をコンセプトに、メイン・コンサートに加え、無料コンサートやワークショップ、レクチャーなど「1日中、東京芸術劇場の中で楽しめる」イベントをお届けします。 会場：東京芸術劇場館内各所
0才から聴こう!! &4才から聴こう!! 春休みオーケストラコンサート	2026年3月20日	その名のとおり、お子様と一緒に音楽を楽しめる演奏会。0才児からと、4才児から入れる演奏会を、それぞれ1公演ずつ開催します。日頃、演奏会に行く機会の少ない子育て世代ファミリー向けに演奏曲目も工夫されたオーケストラ公演です。 出演：読売日本交響楽団（管弦楽） ほか 会場：コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト （リサイタル・ナイト・ ランチ・講座）	通年	世界で唯一の「回転する」パイプオルガンを持つ東京芸術劇場だからこそできる、さまざまなオルガン企画。コンサートだけでなく、オルガンについての知識を深めたい方を対象にした講座も開催します。 出演：徳岡めぐみ、ジャン=フィリップ・メルカールト　ほか 会場：コンサートホール

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：音楽（2）

事業名	会期	概　要
都民コンサート	2025年4月～6月	警視庁音楽隊による「水曜コンサート」、東京消防庁音楽隊による「金曜コンサート」。昨年度から日比谷公園の改修に伴い、池袋西口公園野外劇場 グローバルリングシアターに場所を移し、毎回趣向を凝らした演奏プログラムで、クラシックからポップスまで幅広い音楽をお楽しみいただきます。 出演：警視庁音楽隊、東京消防庁音楽隊 場所：池袋西口公園野外劇場 グローバルリングシアター
芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド	通年	プロフェッショナルを目指す若手奏者を対象とした、無償の音楽家育成アカデミープログラムです。レッスンやコンサートを通じた演奏指導を行うだけでなく、キャリアアップゼミを開講して社会で活躍するためのセルフプロデュース力を研鑽していきます。 会場：リハーサルルーム ほか
芸劇×読響ジュニア・アンサンブル・アカデミー	10日間程度開催	弦楽器の演奏経験のある小・中・高校生を対象に、読売日本交響楽団のメンバーが演奏指導にあたるエデュケーショナル・ワークショップです。読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表を行う機会も予定しています。 会場：リハーサルルーム ほか
読響　土曜・日曜マチネーシリーズ（共催事業）	2025年10月～3月 （年10回開催）	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土曜・日曜の午後に開催する人気のコンサート・シリーズです。 会場：コンサートホール
大ホール活性化事業（提携事業）	通年	午前中に開催する人気企画「ブランチコンサート・シリーズ」など、一流の演奏家による演奏会を手軽にお楽しみいただけるコンサートを通年開催します。 会場：コンサートホール

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊（1）

事業名	会期	概　要
TACT FESTIVAL 2025	2025年5月	毎年ゴールデンウィークに開催している子供も大人も楽しめるフェスティバルを今年は野外で開催します！海外の団体によるアクロバティックでスリリングなパフォーマンスや毎年恒例の「川村亘平斎の影絵と音楽」、大道芸などのストリートパフォーマンスが大集合！ワークショップも開催予定です。 会場：劇場前広場、池袋西口公園野外劇場 グローバルリングシアターなど
芸劇オータムセレクション「ヨナ」	2025年10月	当館とルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場との国際共同制作作品です。マリン・ソレスク作一人芝居「ヨナ」をルーマニアの巨匠シルヴィウ・プルカレーテが演出し、佐々木蔵之介主演で上演します。大きな魚の腹に丸のみされた後この世に戻った(復活した)という聖書のヨナのエピソードになぞらえ、演劇の原点に出会う、全く新しい舞台が誕生します。 会場：シアターウエスト
芸劇オータムセレクション「Mary Said What She Said」	2025年10月	数々の名女優により演じられている、スコットランド女王メアリー・スチュアート。今作では、フランスを代表する名女優イザベル・ユペールが、一人芝居で演じきります。演出は、前衛的な作風で知られるロバート・ウィルソン。世界トップレベルの演劇をお楽しみください。 会場：プレイハウス
芸劇オータムセレクション「Planet[wanderer]」	2025年11月	ベルギーを拠点に国際的に活躍する振付家ダミアン・ジャレと、国際的評価の高い現代彫刻家、名和晃平のタッグによる注目作が、いよいよ日本初上演。継続的にタッグを組み、ダンスや彫刻の領域を超えた表現を生み出す彼らのパフォーマンスをお見逃しなく。 会場：プレイハウス
若手提携公演	2025年11月、 2026年3月	若手女性作・演出家によるエネルギッシュな公演を提供します。2025年度は、芸劇eyes/eyes plusを経て3度目の芸劇公演となる「贅沢貧乏」と「二兎社」（ワークショップ公演）が登場します。 会場：シアターイースト、シアターウエスト
TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム「TRAIN TRAIN TRAIN」	2025年11月	東京2020パラリンピック開会式の演出・チーフ振付を務めた森山開次を中心に、障害の有無を超えた多様なキャスト・アーティストが身体表現に音楽、言葉を交え、多彩に表現します。そして、観客のアクセシビリティにも配慮し、誰もが共に楽しめる創作に挑戦します。 世界陸上・デフリンピックが東京で開催される2025年に、東京2020大会のレガシーを継承・発展させて展開する3つのアートプロジェクトの一つとして、両大会を芸術文化を通じて盛り上げます。 会場：プレイハウス

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊（2）

事業名	会期	概　要
「飛び立つ前に」	2025年11月～12月	家族について描いた3部作（2019年「Le Père 父」、2021年「Le Fils 息子」、2024年「La Mère 母」「Le Fils 息子」）の上演に続き、劇作家フロリアン・ゼレール×演出家ラディスラス・ショラーのタッグが、2025年も芸劇に登場します。欧米で高い評価を得た話題作を、日本を代表する名優・橋爪功を迎えてお届けします。 会場：シアターイースト
ホリプロ主催 東京芸術劇場共催公演 （公演名未定）	2026年1月	演出・振付にフランスを代表する世界的アーティストのフィリップ・ドゥクフレを迎え、実力派キャスト・スタッフとともに、奇想天外で刺激的な舞台をお届けします。 会場：プレイハウス
若手育成 eyes系	2026年1月～2月	「芸劇が注目する才能たち」と銘打ち、活動が注目される若手劇団と提携する「芸劇eyes」シリーズです。毎公演必ず話題になる「東葛スポーツ」、「劇団アンパサンド」が初登場します。eyes plusでは「劇団た組」が2023年以来の二度目の登場です。 会場：シアターイースト
梅田芸術劇場主催 東京芸術劇場共催公演 「PETER & ALICE」	2026年2月	熊林弘高演出による、アメリカの作家ジョン・ローガンの戯曲『PETER & ALICE』。日本初上演となる本作品は、「ピーター・パン」と「不思議の国のアリス」の主人公のモデルとなった男女が出会い、過去と現実それと虚構が交錯する中で、創造の裏に隠されたそれぞれの人生と秘密を描き出します。 会場：プレイハウス
芸劇dance 橋本ロマンス／サエボーグ 新作プロジェクト	2026年2月	気鋭の若手振付家として高い評価を得る橋本ロマンスと、世界の注目を集める美術家、サエボーグとのコラボレーションプロジェクト。パフォーミングアーツの新たな可能性と更なる「今」を探る作品の創作を目指します。 会場：シアターイースト
芸劇dance若手提携	2026年3月	現代舞踊シーンにおいて注目されるダンサー、振付家を中心とする新進ダンスカンパニーと提携することで、将来のダンスシーンを牽引する才能ある人材をサポートし、育成することを目指します。2025年度は、女性2人組のコンテンポラリーダンスカンパニー「Von・noズ(ぼんの一ず)」が登場します。 会場：シアターイースト

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊（3）

事業名	会期	概　要
池袋防衛隊	通年	多彩な活躍を続ける福原充則を中心に、子供の“遊び”をベースとした子供向けワークショップを実施します。演じることに加え、動き、音、衣裳、キャラクターなどの要素に一つ一つ取り組みながら、物語づくりをとおし、演劇の楽しさに触れる場を提供します。 会場：リハーサルルーム ほか
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督が開設した、次代を担う俳優や演出家などの演劇人の育成を目指す修行・交流プロジェクトです。国内外から講師を招き、ワークショップなどを継続的に行います。 会場：リハーサルルーム ほか
都民半額観劇会	年4回開催(春、夏、都民の日記念／秋、冬)	都内劇場で開催される質の高い作品を、都民が低廉な料金で観劇できる機会を提供し、東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すと共に、将来の演劇人口の裾野を広げ、演劇界の活性化に寄与する観劇会です。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：教育普及・人材育成等（1）

事業名	会期	概　要
芸劇舞台芸術アカデミー	通年	舞台芸術分野や劇場・ホールで働く担い手育成を目的とした総合的人材育成プログラムです。前身の「アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修」をリニューアルし、3つのプログラムを実施します。劇場・ホールで実践的かつ理論的に学びながら、キャリアスタートからキャリアチェンジまで体系的にサポートします。 ①実務研修員　制作（音楽または演劇）／教育普及・社会共生 ②シアターコーディネーター養成講座 ③公開レクチャー、フォーラムなど
劇場ツアー	2025年9月 ～2026年3月	「劇場ツアー」では、劇場見学のほか、劇場内の美術展示品の鑑賞、屋上からのまちの眺望など、ツアーガイドが劇場の歴史や特徴、魅力などについてご案内します。 会場：東京芸術劇場内
ワークショップ ～劇場と社会をつなぐアウトリーチプログラムの開発・実践～	通年	東京芸術劇場で学びを深めたファシリテーターたちがまちへ飛び出し、ワークショップを開催します。 世代や国籍、言語などの違いがコミュニケーションの障壁となっているところでは交流促進のためのワークショップを、表現する機会の少ない人々に向けては誰もが楽しめるワークショップを展開します。 会場：都内の学校及び支援団体施設など
舞台技術セミナー	2026年1月～3月頃	創造性と安全性を両立させながら、舞台を日々支えている舞台技術専門スタッフ。現場で求められる技術力や判断力について、最前線の情報や知識をお届けするセミナーを開催します。 会場：東京芸術劇場（未定）
人材育成・教育普及 （共催事業）	通年	専門性の高い劇場業務の特質を生かした人材育成事業を拡充するため、大学や高校と連携した学生の公演事業のサポートなどを行います。
のはらカレッジ	通年	多様性から生まれる表現を追求し、多様な領域で活躍できる人材育成を目指すDEI（Diversity,Equity,Inclusion）ダンス・ファシリテーション講座。講座実施のほか、障害者支援施設やデイサービスセンターなどに出向いてアウトリーチ活動を実施し、各施設の利用者の身体特性に合わせた身体表現活動を行うことで、講座参加者はファシリテーションの実践経験を積みます。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場教育普及・人材育成等(2)

事業名	会期	概　要
ホワイトハンドコーラス	通年	障害の有無にかかわらず、あらゆる子供たちが参加できる音楽活動。一般社団法人エル・システマジャパン、エルシステマ・コネクトの2団体と共に実施します。視覚に障害のある子供たちによる合唱のワークショップや、聴覚に障害のある子供たちによる手歌を用いたパフォーミングアーツ、また、ろう当事者の視点からの“音楽”を問うワークショップを実施します。
社会共生セミナー	通年	共生社会の実現のため、芸術文化をとおして地域の包摂的環境の推進を図るためにはどうするべきなのか、公立文化施設関係者を主な対象として、レクチャーや講座を実施します。文化による多様な価値観の形成と、それを担う公立文化施設職員の知識習得の場を設けます。
社会共生クリエーション	通年	公共劇場が社会包摂的機能を持つためにはどのような取組が必要なのか？その試みとして、「多様な人たちが集える場の創出」、「多様な価値の発信としての作品創造」、「社会的課題への問題意識を持つ団体/アーティスト/プロジェクトのリサーチ」を本事業をとおして実施します。 2025年度は、「障害当事者が参画する事業実施に必要となる人材の育成」、今後の創造活動のパートナーとなるべき団体およびアーティストのリサーチを実施します。
アトリウムの賑わい創造事業	通年	劇場前広場やアトリウム空間などのパブリックスペースを活用し、大道芸や子供たちも体験できるイベントなど、さまざまなプログラムで劇場周辺の賑わいを創出します。また、地元豊島区や池袋エリアの地域主体で実施されるイベントとの連携や、芸術文化の役割、アートを使った街づくりをテーマとしたレクチャーなども開催します。

※この内容は2025年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
　詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。
※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場
〒171-0021　豊島区西池袋1-8-1
電話：03-5391-2111　https://www.geigeki.jp/
※設備更新工事のため、2025年7月中（予定）まで休館中。
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。